

## アイピーライト社が OTN プロセッサ Apodis の新製品を発売

ベンダーがエッジ、メトロ、MFH 光ネットワークで最高のソリューションを実現可能に

イスラエル・ペタティクワ - 2016 年 6 月 21 日 - アイピーライト社は光伝送網 (OTN) プロセッサ Apodis の新たなラインナップを発表します。これらの製品は 40G シングルチップと、100Mbps から 11Gbps まで幅広い柔軟性を持つクライアントポートを搭載。また 10G クラスのシリアルポート 8 つまで対応可能で、小さな設置面積と非常に少ない電力消費を実現しました。Apodis プロセッサは光システムベンダーのエッジ、モバイルフロントホール、メトロネットワーク構成要素の設計においてコストを著しく低減します。

Apodis プロセッサは、家庭用ブロードバンドサービス、モバイル接続、モノのインターネット、データセンターで使われる大容量光ネットワークの需要の急成長に対応します。

「アイピーライト社の最新鋭の Apodis 技術は、光システムベンダーが高度な製品を速やかに提案することを可能にします」とハンインフォコム の社長兼 CEO デビッド・ベイ氏は述べています。「Apodis プロセッサは複数のアプリケーションでのハードウェア製品の設計における開発期間短縮を促進します。ハンインフォコム の顧客は研究開発コストを全面的に低減しつつ Apodis の優れた性能の恩恵を受けているのです。私達の顧客はこれらの高機能製品の可能性を実感しており、すでに先行注文を頂いています」。

アイピーライト社の Apodis Manager™ ソフトウェアパッケージは、ターゲットアプリケーションでの Apodis プロセッサの迅速なインテグレーションを可能にし、システムベンダーは Apodis の素晴らしい柔軟性を最小限の労力で利用できます。Apodis EVB™ は Apodis をベースとした評価・参考設計であり、Apodis ベースの基板設計の開発労力をさらに最小化します。

「光システムベンダーは、無線・有線ネットワークの増え続ける帯域幅需要に対応するため、競争力のある高度な製品を必要としています。Apodis プロセッサの能力によって、彼らはそれを低価格で実現できるようになります」とアイピーライト社の CEO

ルーベン・マーカス氏は述べています。「これで彼らは設計とインテグレーションへの投資を減らしつつ、市場での課題により力を入れることができるようになりました」

Apodis のサンプルは予約注文が可能です。

### アイピーライト社紹介

アイピーライト社は最先端の光伝送網（OTN）プロセッサとモバイルフロントホール（MFH）IP コアを開発しています。アイピーライト社の製品は光システムのベンダーが最新のエッジアクセス、MFH、メトロサービスプラットフォームを提案することを可能にし、研究開発期間を短縮して、コストパフォーマンスに優れた光システムの構築を容易にします。アイピーライト社は世界各国の通信事業者との提携による独特な技術革新に基づいた、画期的な製品ソリューションを提案します。幅広い実務経験を持ち先見性のあるシステム専門家チームにより創設され運営されているアイピーライト社は、ITU-T、IEEE 標準関連のワークグループにも参加しています。

### 媒体連絡先

アイピーライト社 セールス&マーケティング担当部長 マイケル・ハルペリン  
[mhalperin@iplight.com](mailto:mhalperin@iplight.com)、電話: +972-52-722-7070

K2 グローバルコミュニケーションズ エイミー・ケニスバーグ  
[amy@k2-gc.com](mailto:amy@k2-gc.com)

+1-913-440-4072

+972-9-794-1681 （国際）